

# 能登半島地震 復興支援ニュース

◆支援メンバーの活動や、被災地支援の取り組みの様子を発信しています◆

発行：全国生協災害対策本部

編集：日本生協連渉外広報本部

アドレス: pr@jccu.coop

2024年2月13日発行 NO.13

co-op



せいきょうから、あしたへ

## 共済加入組合員への個別訪問

2月5日（月）より20名の支援者が共済加入組合員へ個別訪問を進めています。

コープいしかわ部内報「リリヤン」より抜粋・要約



2月6日（火）訪問する職員はコープいしかわのピンクビブスを着用しています。ビブスは組合員活動行事で使用していたものです。

### 【訪問者の感想】

出会えた方は感謝の言葉だけではなく「こんな状況なのに逆にありがとう」と、ジュースを出して下さる方も。訪問活動は人と人を結びつける大切なことだと改めて思いました。

「生協さんは本当に優しい組織ですね」と喜んでいただけましたし、県外からの訪問に感激された方が多く、ご当地の話で和んでいただき、会話を楽しんでいる様子もありました。幸いにも怪我をされた方はおらず、それが何よりでした。



2名一組で10組の支援者が羽咋市、志賀町、内灘町で564件を訪問し、239名の方と会って話することができました。  
(2月7日（水）現在)

## 自生協の仲間のために

コープいしかわの職員が、2月12日（月）から4週間の予定で、のとセンターで配送同乗などの支援を開始しました。

これは、発災以降のとセンター職員や能登の組合員の力になりたいと考えている職員の思いを受け、能登の現状を知ること、コープいしかわの職員同士の助け合い・つながりを育むことを目的にしています。

このため、全国の生協から派遣された支援職員の方は、のとセンター以外の配送センターの欠員コースの代配を担当します。

支援職員の方は月曜日にコープいしかわ職員に同乗してレクチャーを受け、火曜日から支援職員2名ペアの配送体制で臨みます。

コープいしかわ部内報「リリヤン」より抜粋・要約

## 様々な支援の形

引き続き、全国の生協から職員の派遣や物的支援、応援メッセージなどの心的支援が寄せられています。支援募金の取り組みも広がっています。

コープいしかわ部内報「リリヤン」より抜粋・要約



一つの壁には貼り切れないほどの、寄せ書きや応援メッセージが届けられています（写真上）。

2月1日、コープえひめ的美濃理事長（右から2人目）がコープいしかわ本部を訪問、お見舞金の目録とコープえひめ理事会の皆さんからの寄せ書きを手渡しました（右）。



CO-OP



全国の生協から、コープいしかわに届けられた応援の品々（一部）。（右上から左回りに）こうち生協「地元メーカー・ミレービスケットのお菓子各種」、コープこうべ「ハイカラメロンパン各種」、コープぎふ「チョコ菓子各種」、いばらきコープ「水戸の人気お煎餅とろ火焼」、おおさかパルコープ「グーテ・デ・ロウのラスク」

能登半島地震への全国の生協の  
支援募金の取り組み

約7億円  
(1月31日時点 日本生協連把握分)